

平成27年  
8月から



## 一定以上の所得のある方は、 サービスを利用した時の負担割合 が2割になります

介護サービスを利用する場合には、費用の一定割合を利用者の方にご負担いただくことが必要です。

この利用者負担について、これまでは所得にかかわらず一律にサービス費の1割としていましたが、団塊の世代の方が皆75歳以上となる2025年以降にも持続可能な制度とするため、65歳以上の方（第1号被保険者）のうち、一定以上の所得がある方にはサービス費の2割をご負担いただくこととなります。

**Q** 2割負担になるのはどういう人ですか？

**A** 65歳以上の方で、合計所得金額<sup>※1</sup>が160万円以上の方です（単身で年金収入のみの場合、年収280万円以上）<sup>※2</sup>。

ただし、合計所得金額<sup>※1</sup>が160万円以上であっても、実際の収入が280万円に満たないケースや65歳以上の方が2人以上いる世帯<sup>※3</sup>で収入が低いケースがあることを考慮し、世帯の65歳以上の方の「年金収入とその他の合計所得金額<sup>※4</sup>」の合計が単身で280万円、2人以上の世帯で346万円未満の場合は1割負担になります。

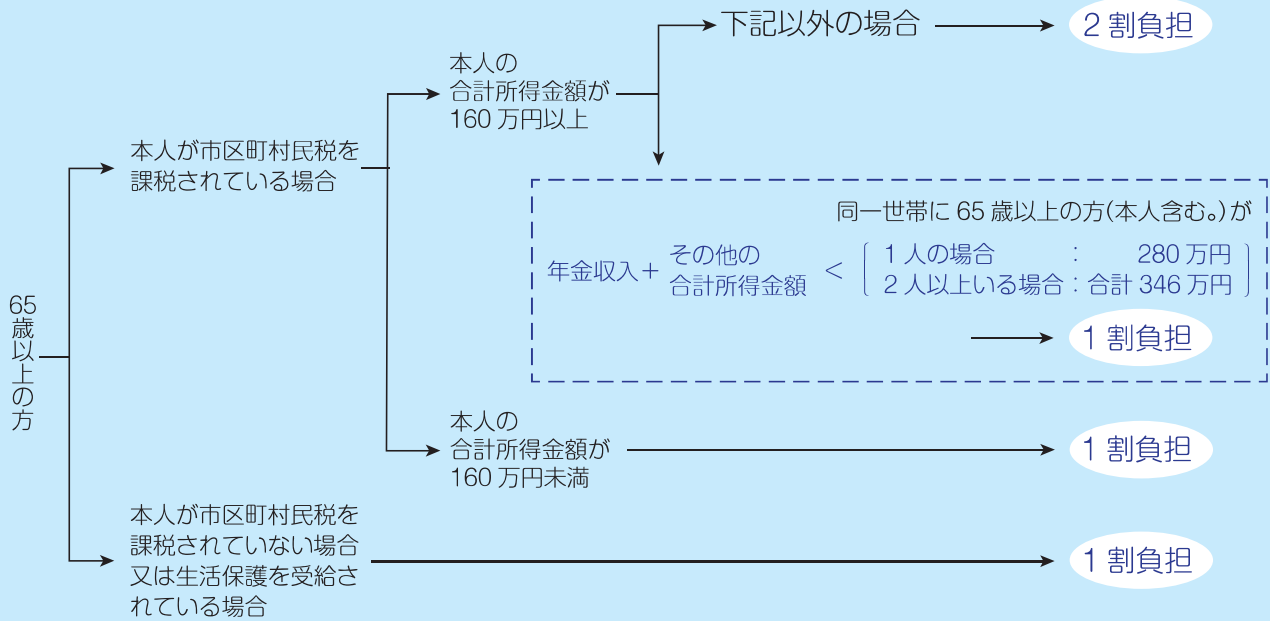
※1 「合計所得金額」とは、収入から公的年金等控除や給与所得控除、必要経費を控除した後で、基礎控除や人的控除等の控除をする前の所得金額をいいます。

※2 これは、65歳以上の方のうち所得が上位20%（全国平均）に該当する水準です。実際に影響を受けるのは介護サービスを利用されている方ですが、これは在宅サービス利用者のうち15%程度、特別養護老人ホーム入所者の5%程度と推計されます。

※3 「世帯」とは、住民基本台帳上の世帯を指します。

※4 「その他の合計所得金額」とは、合計所得金額から、年金の雑所得を除いた所得金額をいいます。

## 〈利用者負担の判定の流れ〉



**Q** いつから2割になるのですか？

**A** 平成27年8月1日以降にサービスをご利用されたときからです。

**Q** 1割負担から2割負担になった人は、全員月々の負担が2倍になるのですか？

**A** 月々の利用者負担には上限があり、上限を超えた分は高額介護サービス費が支給されますので、全ての方の負担が2倍になるわけではありません。月々の負担の上限については、「高額介護サービス費の負担限度額の見直しについて」をご覧ください。

**Q** どうやって自分の負担割合を知ることができるのですか？

**A** 要介護・要支援認定を受けた方は、毎年6～7月頃に、利用者負担が1割の方も2割の方も、市区町村から負担割合が記された証（負担割合証）が交付されます。

この負担割合証を介護保険被保険者証と一緒に保管し、介護サービスを利用するときは、必ず2枚一緒にサービス事業者や施設にご提出ください。

| 介護保険負担割合証         |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 交付年月日 年 月 日       |                                  |
| 被<br>保<br>険<br>者  | 番 号                              |
|                   | 住 所                              |
|                   | フリガナ                             |
|                   | 氏 名                              |
| 生年月日              | 明治・大正・昭和 年 月 日 性別 男・女            |
| 利用者負担の割合          | 適用期間                             |
| 割                 | 開始年月日 平成 年 月 日<br>終了年月日 平成 年 月 日 |
| 割                 | 開始年月日 平成 年 月 日<br>終了年月日 平成 年 月 日 |
| 保険者番号並びに保険者の名称及び印 | <input type="text"/>             |

※負担割合証はイメージです。